

第6次江南市総合計画市民会議 議事要旨 (第6回 第3分科会 (行政分野))

日 時 平成29年1月31日(火) 13:30~14:45
会 場 江南市役所 第3委員会室
出席者 出席委員8名

■委員

〈会長〉	柴田 広美	ほていコミュニティ協議会副会長
〈副会長〉	早瀬 裕子	公募市民
	大脇 勇	公募市民
	豊島 正治	公募市民
	土肥 浩子	有限会社尾北ホームニュース編集
	福岡 恩	江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇談会副会長
	坪内 俊宣	江南市総合計画策定部会 (行政分野) 部会長
	村瀬 正臣	江南市総合計画策定部会 (行政分野) 副部会長

■傍聴者

なし

◆議題

議題

(1) 基本計画 (分野別計画) について

〈配付資料〉

資料1 江南市総合計画市民会議 (第4回第3分科会) 議事要旨

◆会議結果

1 開会

事務局より挨拶。

2 市民会議

2.1 報告

(1) 第4回議事要旨の確認について

(会 長) 報告(1)の「第4回議事要旨の確認について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ~ 資料1について事務局より説明 ~

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

~ 特に意見なし ~

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

2. 2 議題

(1) 基本計画（分野別計画）について

(1. 1) 検討した柱の修正確認について

①分野Ⅴ－柱2 市民協働への支援について

(会 長) ご意見等ありますか。

(委 員) 市民協働事業のアダプト制度という表記について、市民にとって分かりやすい言葉がよいと思う。市のホームページを見るとアダプトプログラム、こうなん美化ボランティア、里親制度という同じ内容を示す3つの用語が使われている。美化ボランティア活動や美化ボランティアという表現の方が市民にとっては分かりやすいのではないか。全国的にアダプトプログラムといった用語は使用されているが、20年経っても浸透していないということを受けて、名称変更も検討してはどうか。要するにみなさんが馴染んでいる言葉を使った方が、市民のみなさんに分かりやすいのではないかということである。検討していただきたい。

(地方創生推進課) 注記は、できるだけ少なくする方がよいので、もう一度検討します。

(委 員) 職員のみなさんが使うような言葉を使えば使うほど、計画を読む市民の方に余計な時間を使わせることになると感じる。どうしてもそういう用語が必要という部分はあると思うが、極力、注記を減らす表現を考えていくべきだ。

(会 長) 戦略計画策定時から、アダプトプログラムという言葉を使って、満足度調査などにもその用語が使われているということも考慮しなければならない。今まで使用してきた経緯も踏まえていただきたい。名称を変えることによって、今までアダプトプログラムというものを理解していた方が混乱することもあるかもしれない。名称変更の仕方については考慮してほしい。

(委 員) 市民協働の推進に向けた具体的な取り組みに関して、個別目標①の行政の取り組みのところ、主な事務事業として、公募型協働支援補助事業を掲載され、より具体的になったと思う。「市民協働の推進に向けて」においても、中間支援団体による支援体制について記載しており、これまでにない新たな方針を示しているもので、今後につながっていくと思う。是非、今後も地方創生推進課だけでなく、全庁的に協働の取り組みを進めていただきたい。

(委 員) 参考資料の「近隣市町の地域加入団体数について」の中で、区や町内会の数が自治体によって世帯、人口に対して数にばらつきがあるが、なぜか。

(地方創生推進課) 市で把握している数なので、実際には区の中にある小さい自治会などの把握状況によって、差が生じているものと思われます。または、昔からの団体の定義や経緯によって、数値にバラつきが生まれているかもしれません。

(委 員) 3ページの個別目標②の行政の取り組みについて、地域の魅力の発掘・発信は従来からもいろんな事をしてきたと思うが、今後どこを変えていくのか、どんな新しい取り組みをするのか。

(地方創生推進課) 従来は「広報」という言葉を使っていましたが、地域の魅力発信グループになりまして、今後は、行政情報を正確に伝えるだけでなく、市の魅力を探したり、その魅力の提供を進めていきます。それを、シティプロモーションと呼んでいます。江南市の魅力を広く知ってもらえるよう力を入れていきます。

(委 員) 行政の使命の部分で、「さまざまな情報媒体により～」と修正があるが、情報発信の方法について、今後プラスすることはあるか。

(地方創生推進課) 現在の紙媒体、ホームページ、SNS（フェイスブック、ツイッター）を用いていますが、今後は、もう少し違う形で、アプリなどの活用を検討していきたいと思っています。また、見たい、取材したいと思われるような情報提供のあり方についても工夫が必要と考えています。

(委 員) おそらく市民の方は、ここが新しい、ここが違うということが分かりづらいと思うので、何か表現の工夫が必要だと感じる。

(地方創生推進課) 全体を通して再度見直し、表記について検討します。

(委員) 最近では区やNPO・ボランティアに含みにくい地域や組織があるので、そういった団体を中間支援組織でサポートして、地域協働の道筋をつけていってはどうかと感じている。

②分野V－柱5 課税・収納への支援について

(会長) ご意見等ありますか。

(委員) 「現状と課題」の修正部分で、「口座振替や、～様々な納税機会の拡大推進」とあるが、口座振替は納税の手段である。今後、納税の手段についても拡大していくのなら、納税の手段や機会の拡大と表現した方が分かりやすいと感じる。どちらかを強化するのか、どちらとも強化するのか分かるように書いた方がよいと思う。

(会長) 市民協働のモデルについては何か記載することはないか。

(税務課) 税務課や収納課の業務については、法律に基づくものがほとんどで協働事業となるものがないため、記載がありません。

(会長) 記載がない場合は、最終的には、この欄ごとなくなるということではよろしいか。

(事務局) はい。削除します。

(委員) 行政の使命に記載のある「滞納整理体制」という言葉の意味が分かりにくいですが、どういったことを指すのか。

(収納課) 税金の滞納があった場合、催告書を送付したり、差し押さえによって収納を行うといった内容です。

(委員) 質問の趣旨は、今の説明が、滞納整理体制という言葉だけでは、市民にとっては分かりにくいのではないかということ。

(収納課) 少し表現を検討します。

(1. 2) 柱の検討について

①分野V－柱4 行政経営について

(行政経営課) ～ 分野V－柱4 行政経営について行政経営課長より説明 ～

(会長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

(委員) 8ページの個別目標②の各指標だが、今後の望ましいレベルというのは、どこに置かれているのか、平成39年度の数値が望ましいレベルなのか。その先にあるのか。

(行政経営課) 財政力指数については、江南市において、設定できる範囲の最大の目標値を置かせていただいています。実質公債費率は、数値としては悪化していますが、新体育館や新ごみ処理施設、下水道整備などに対する地方債の借入を予定しているため、その中でも無理のない目標値としています。経常収支比率については、75%程度が適当と書いてありますが、県内でも75%程度の自治体はなかなかありません。社会保障費の上昇などもあり、経常収支比率をよくすることは難しいですが、経常経費の削減に取り組み、できる限りの数値改善を図った目標を設定させていただいております。

(委員) 今の説明を聞くとよく分かるが、市民の皆さんはなかなか理解が難しいと思う。どこかで、江南市の目指す妥当なレベルだと掲載できるといいと思う。実質公債費比率なども、その数値を目指しているわけではなく、事情があって、悪化しているが、無理のない目標値であると説明してあると、市民も納得しやすいと感じる。

(行政経営課) 検討します。

(委員) 個別目標③の公共施設マネジメント推進事業などは、具体的な対象施設を示していかないと議論が進まないと思う。

(秘書政策課) 公共施設の再配置については、総合計画と並行して、現在、議論を進めているところで、

検討資料はお示しできませんが、平成 29 年度までに作成し、平成 30 年度からの計画となっています。

(委員) その計画も、先程の実質公債費比率などにも反映されているのか。

(行政経営課) 公共施設再配置計画がまだ策定されていないので、反映されていません。

(秘書政策課) 計画策定の時期を考慮すると、平成 30 年度時点では反映は難しいかもしれませんが、見直し年度の平成 35 年度には数値見直しができると考えています。

(委員) 先程、経常経費の削減などについてのお話もあったが、経費の問題は市民にとっても問題だと思っていて、受益者負担の考え方などを記載してもいいかと思う。施設利用に関する利用料など、市民も受益者負担の意識を持って、一緒になって考えなければいけない問題だと思う。市役所だけの問題ではないと思っている。行政改革大綱には何かそういった記載があるか。

(行政経営課) 現在の行政改革大綱については、行動計画とってかなり細かく作っていますが、細かすぎて取り組み方針がぼやけてしまうといったこともあったので、次の大綱については、職員が具体的な目標を持てるものとして、作成方針を検討しているところです。

(委員) 何年か前だと、指定管理者制度の導入などの動きがあったと思うが、江南市の状況はどうか。

(行政経営課) 民間でできる事は民間へ移行していくというのは時代の流れです。先程、財政力指数の話をしました。交付税算入額につきましても、民間活用を導入することで、有利に働くような流れになってきていますので、そういった点も検討した中で行政改革大綱の中身を検討していきたいと思っています。江南市も民間の力を借りられるところは借りていきたいという考えです。

(委員) 一度、指定管理に出すと一時はよくなるが、その後、継続性という部分で難しいという話を聞くことがあるので、その点が上手くいくといいと思う。

(委員) 7 ページの 10 年後のすがたについて、「最大の成果」という言葉の意味は分かるが、もう少し具体性があるといいと思う。また、行政の使命について、下の段落の方がよりマクロな視点からの内容となっていると思うので、上下変えた方がよいのではないか。また、上の段落で、文末が「～行政改革に取り組む。」となっているが、取り組んだ結果、何を指すのかを示した方がよいので、その前に記載してある「経費削減や市民サービスの質の向上を図り」という部分を文末にした方がよい。

(行政経営課) 修正案を検討します。

(会長) グラフの表記について、各分科会と揃えて、表記や凡例順序等揃えてほしい。また、文章とグラフの出る順序等合わせてもらえると、読みやすくなると思う。

(委員) グラフが示している内容が、一文でも記載されていると、より分かりやすくなると思う。また、細かな修正等は会議中に修正を申し出てもらえば結構で、事前の差替えは必要ないと思う。それから、会議を通して資料の差替えがあったが、どこか端に日付等の履歴があるとよいと感じた。

3 その他

次回会議日程について

(事務局) 次回第 7 回分科会会議は 2 月 6 日 (月) 午後 1 時 30 分から第 3 委員会室で開催します。事前に資料を送付しますので、よろしくをお願いします。

4 閉会

(事務局) 長時間に渡りご検討いただきまして、ありがとうございます。第 6 回市民会議 (分科会) を終了します。本日はありがとうございます。